

「国際融合文化学会宮古島大会」予告

宮古島市制一周年記念・能公演・シンポジウム

2006年「国際融合文化学会宮古島大会」のご案内をいたします。今大会は、沖縄県宮古島の市制一周年を記念し、とくに宮古島市のご協力をいただき開催いたします。例年のとおり学会研究発表のほか、一般市民向け『英語能・ハムレット』公演、特別シンポジウム、見学旅行などの催しが企画されています。

今大会では、各種の申し込みおよび費用の振り込み先と方法が、前回までとは大きく変わっています。発表関係以外の申込みと費用振込の取り扱いを「学会事務局の片桐睦人」が担当いたします。申し込み先の一本化による手続きの円滑化と会員への便宜、準備委員会の負担軽減のためです。ご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、それぞれの項目案内を熟読いただき、お間違いのないよう、早めにご準備下さい。なお、開催準備がスムーズに運びますよう、各種〆切日はくれぐれも厳守していただくようご協力をお願いいたします。

宮古島大会に関する最新情報は、国際融合文化学会のホームページ
(<http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~ISHCC>) に掲載されます。

1. 日 程

10月13日（金）：島内視察・見学（史跡、熱帯植物園他）、歓迎交流会

10月14日（土）：特別シンポジウム（宮古島市中央公民館）、

能公演「英語能・ハムレット」(袴能)リハーサル及び本公演（マテイダ市民劇場）、
学会大会（自由聴講、研究発表、宮古島市中央公民館）、夜間小集会、
研究発表の続き、映画上映「日本語能・ハムレット」（野村万作ほか出演、
宮古島市中央公民館）

10月15日（日）：能公演「英語能・ハムレット」（池間島離島振興総合センター）

講話「21世紀に生きる」（仮題）学会会長 上田邦義
謡曲「高砂」仕舞「羽衣」と宮古歌謡講座
オプションツアーまたは吟行・句会（会場未定）

10月16日（月）島内史跡自由見学

2. 会 場

特別シンポジウム：宮古島市中央公民館

能公演：マテイダ市民劇場・池間島離島振興総合センター

学会大会：宮古島中央公民館

謡曲・仕舞・宮古歌謡 講座：池間島離島振興総合センター

3. 特別シンポジウム「21世紀人類の進化と宮古島の発展—具体的提言をどうぞ」

講師予定者

- ・ ラース・ヴァーゴ氏（駐韓国スウェーデン大使・日本文化研究家）
 - ・ 日江井榮二郎氏（東京大学名誉教授、国立天文台名誉教授、明星大学前学長）
 - ・ 伊志嶺 亮氏（宮古島市長）
 - ・ 榎木 孝明氏（俳優、画家、武道研究家）（交渉中）
 - ・ 中井 弘和氏（静岡大学前副学長、MOA自然農法文化事業団技術顧問）
 - ・ 小笠原隆夫氏（日本大学芸術学部教授、日本映像学会副会長）
 - ・ 上田 邦義氏（国際融合文化学会会長、静岡大学名誉教授） 他交渉中
- 司会 宮西ナオ子氏（日本ペンクラブライター、女流能楽博士）

4. 学会大会の研究発表募集について <〆切 8月18日（金）、学会事務局扱い>

10月14日の学会研究発表者を募集します。題目に要旨（400字程度）を添えて、学会事務局にE-mailで**8月18日必着**でお申し込み下さい。研究発表は会員に限ります。これを機会に入会されても結構です。プログラムの編成が終わり次第、受理通知を返送します。なお、プログラム編成につきましては、学会事務局が決定します。申込者の希望は尊重しますが、申込み人数の多少や時間的制約などで、必ずしも希望に添えない場合があることを予めお断りします。

・研究発表

発表時間は1人あたり15分（加えて質疑応答が5分）です。発表者は討論も考慮し余裕を持って発表を行ってください。

発表者が少人数の場合は時間延長いたします。

・歓迎交流会、夜間小集会の申し込み要領<申し込み〆切 9月15日（金）、学会事務局扱い>

10月13日（金）、14日（土）の歓迎交流会、夜間小集会の参加を希望する方は予めお申し込み下さい。費用は現地精算となります。 **※申し込み締切日延長しました。**

各種申し込みと費用について：取り扱いは学会事務局片桐です。

- （1）航空券、宿泊のお申し込みは、巻末に掲載の申込用紙で一括申し込みできます。1枚につき3名分まで記入できます。
- （2）変更・追加・取り消しの場合も上記の申込用紙で行っていただきますので、万一に備えて書式をコピーしてご利用下さい。
- （3）e-mailにてお申し込みの場合には、必要事項（申込書参照）を記入し、下記アドレスまでご送信下さい。ご要望があれば、申込み用エクセルファイルを送信いたします。

2004c08@gssc.nihon-u.ac.jp（片桐）

- （4）申し込み受付後、随時、事務局片桐から予約確認書をお送りします。料金は9月**中旬**にならないと確定しないため、確定しましたら請求書をお送りしますので、指定口座まで振り込み願います。

(5) 確認書は、大会当日会場受付にご持参いただきますので、大切に保管して下さい。

(6) 取り消しなどにより返金する場合は、所定のキャンセル料のほかに返金振込料を差し引いた額となります。

5. 参加登録申し込み<申し込み〆切 9月15日(金)、片桐扱い> ※締切日を延長しました。

当日の受付での混雑緩和のため、事前に参加登録申し込みをお願いします。

6. 島内旅行参加申し込み要領<申し込み〆切 9月15日(金)、片桐扱い> ※締切延長

- ・参加希望の場合はお申し込み下さい。人数によって観光先、観光手段を計画させていただきます。参加費用は現地にて精算となります。
- ・学会事務局は島内旅行参加者に対し、旅行中に発生する病気、事故、傷害、死亡等に対する責任・補償をいっさい負いません。国内旅行傷害保険に加入をお勧めします。
- ・参加取り消しの場合は必ず事務局片桐宛連絡して下さい。
- ・集合・解散の場所、時刻などを変更することもありますので、大会期間中、事務連絡などの案内に注意してください。
- ・島内旅行案内書は会期中、会場でご案内します。

7. 宿泊・交通について<申し込み〆切 9月15日(金)、片桐扱い> ※締切延長

基本的には宿泊、航空券の斡旋になります。料金は9月中旬確定予定。 ※確定日変更

宿泊はホテル共和を手配しております。

なお、他の宿泊施設をご利用希望の場合はご自身で直接施設にお申し込み下さい。

宿泊と航空券セット(※下記条件)の昨年の参考料金は、羽田発 56,000円 大阪発 51,000円 福岡発 49,000円です。今年は航空運賃の変動により、最大5,000円程度料金が高くなるのが考えられます。料金は確定次第ご案内致します。

(※航空券代金＝出発日と時間は選択可能・及び宿泊3名1室、4泊朝食4食付きの料金、宿のグレードはスタンダード、一人部屋希望の場合は一泊につき3,000円アップ)

準備委員会組織

諸連絡の代表窓口は大会事務局の片桐睦人です。連絡先は下記になります。 ※連絡先変更

電話： 090-8676-7722 (片桐、携帯電話)

FAX： 042-644-6813 (菊地) ※事務局の菊地が取り次ぎ、片桐に連絡します。

メールアドレス：2004c08@gssc.nihon-u.ac.jp (片桐)

また、内容によって、窓口の担当が異なる場合は、そちらをお願いします。

お願い ☆ 非会員の友人や家族も全行事に参加できます、是非お誘い下さい。

宿泊・交通のご案内

〔宿泊のご案内〕・・・学会事務局手配分

- ・宿泊取り扱い期日：2006年10月12日（木）から10月15日（日）
- ・宿泊条件：1泊朝食付，税・サ込，3人部屋（他希望あれば料金アップにて対応可）

〔航空券〕・・・学会事務局手配分

- ・航空券の手配を行います。ご希望の場合は申込書に必要事項（ご利用日，区間，便名・時間等）をご記入下さい。
- ・手配が完了しましたら，事務局片桐から確認書・請求書が届きますので，1週間以内にご送金下さい。ホテルの手配も一緒にお申し込みの場合は全ての手配がすみましたところで確認書等を送付いたします。
- ・個人向け各種割引切符等ご用意できないものもありますのでご了承下さい。

〔お申し込み方法〕

指定の申込用紙（学会ホームページをご確認ください）に必要事項をご記入の上，下記の送り先まで郵送またはFAXでお申し込み下さい。お手元に必ず控えを残されるようお願いいたします。また，e-mailにてお申し込みの場合には，必要事項（申込書参照）を記入し，下記アドレスまでご送信下さい。ご要望があれば，申込み用エクセルファイルを送信いたします。なお，お電話によるお申し込みは受け付けいたしませんのでご了承下さい。

〔変更・取消について〕

- ・変更，取消が生じた場合には，すみやかに下記までご連絡下さい。なお，発生日による取消料は以下の通りです。

	～8日前	7日前～2日前	前日	当日以降
宿泊	無料	20%	50%	100%
交流会	無料		20%	100%
航空券	各社によって取消料が変わります。			

〔お問い合わせ・申込書送付先〕 **※問い合わせ先、送付先を変更しました。**

〒435-0056 静岡県浜松市小池町 1607-2-401 片桐睦人 宛

担当：片桐

電話：090-8676-7722（片桐、携帯電話）

FAX：042-644-6813（菊地）※事務局の菊地が取り次ぎ、片桐に連絡します。

e-mail：2004c08@gssc.nihon-u.ac.jp（片桐）